

～鶴岡市にゆかりのある商工会議所との交流～

鹿児島市 訪問

9月26日(水)～28日(金)

戊辰戦争・明治維新から150年経過した今年、NHK大河ドラマ「西郷どん」が放映されるなど、鹿児島市では西郷南洲翁に関する企画展示やイベントが展開され大変な盛り上がりを見せている。鹿児島市と鶴岡市は、西郷南洲翁との「徳の交わり」を基に「兄弟都市」の盟約を結んでおり、親善使節団の相互訪問などを通して交流が続いている。今回は、早坂会頭をはじめ当商工会議所の役員が鹿児島市を訪れ、鹿児島商工会議所との交流を深めた。

鹿児島商工会議所へ表敬訪問

鹿児島商工会議所 岩崎会頭をはじめ各副会頭から、「中心市街地及びウォーターフロントエリアにおけるまちづくりについて」「観光振興に係る取組みについて」「国際観光都市創造に向けた取組みについて」それぞれご講話いただいた後、意見を交換した。

鹿児島名物さつまあげ加工工場「月揚庵」

鹿児島商工会議所 瀨本副会頭の会社であり、さつまあげで有名な「南海食品(株)(鹿児島月揚庵)」は、昭和38年に海産珍味加工製造業として発足。珍味を真空パック化する機械を鹿児島で初めて導入した。さつまあげをお土産として通用する商品へと高めるため、県外の人の味覚をリサーチし、商品を開発。安全に対する管理も徹底していた。



鹿児島商工会議所との交流懇談会

交流会懇談会においては、始めに岩崎会頭より「西郷さんを再評価していただいたのが旧庄内藩であり、鹿児島と庄内は深い絆で結ばれているのに意外と交流がないと思っている。これからは本気で交流したい」とご挨拶いただいた。早坂会頭は「今回、鹿児島市の中心市街地への取組、観光面等色々と勉強をさせていただいた。今度はぜひ、鶴岡においていただき経済的交流も深めていきたい」と挨拶。続けて、国井副会頭が「西郷どんの放映が始まり、旧庄内藩と関係が深い鹿児島にぜひ行かなければとの想いから、庄内の翼と名打ち、チャーター便を含めて5便、300名ほどの鶴岡市民がこの鹿児島を訪れる。相互交流を通じて、産業界も交流を深めて参りたい」と挨拶し乾杯の発声を行った。両商工会議所役員等40名で和やかに懇親を深め合った。

今回の鹿児島市の視察研修と鹿児島商工会議所との交流を通じて、両市が深い絆で結ばれていることを再認識した。我々商工団体としては、今後、経済・産業分野でも一層の連携を強めていきたい。

村上市 訪問

7月12日(木)

早坂剛会頭をはじめ、当会議所の役員が新潟県村上市を訪れ、村上商工会議所の川崎久会頭や副会頭、各分会、青年部の代表との懇談会を開催した。

村上市は、人口約6万人の武家屋敷が残る城下町で、世界で初めて鮭の自然ふ化増殖に成功した「鮭のまち」として知られている。

村上市まちなか見学

懇談会の前に、村上市観光ガイドのご案内でまちなかを見学。鶴岡とのゆかりが深い宮川屋や善龍寺の歴史などを伺った。

鮭料理の「味匠 喜っ川」

城下町の面影が残る町屋へ。歴史深い鮭料理の文化を守り続けている「味匠 喜っ川」には鮭文化が感じられる加工品の数々が並び、その奥には天井の梁からびしりつり下げられた塩引き鮭が目くぎ付けに。村上の食の伝統を守り抜くという気概が伝わってくる光景であった。



村上商工会議所との懇談会

お互い様々な問題、課題は多くあるが、一番の目標は日本海沿岸東北自動車道の早期開通を目指し、両商工会議所が一体となって陳情活動や運動を展開していくこと。村上と鶴岡は歴史的にも関係が深く、今後はますます情報交換を活発に行い、交流を深めていくことなどが話し合われた。



今年はプレDCとして様々な観光イベント・商品開発が展開されます。今回のDCメインキャッチフレーズは『日本海美食旅(ガストロノミー※)』、庄内エリアのサブキャッチフレーズは『おいしい食の都庄内』とし、日本海と雄大な山々に育まれた豊かな食文化の発信をします。



に「出羽三山詣で」食と銘酒と語らう旅」プロジェクトを立ち上げました。主要観光地の出羽三山と温泉地との関係性を、食と日本酒をテーマに強化することを目的とし、「精進入り」から「精進落とし」まで含めて楽しんでもらえる、地域一体での観光商品の研究開発を行っています。商品化に向けての進捗状況は、引き続き報告してまいります。

※ガストロノミーとは文化と料理の関係を考察することをいい、日本では美食術、美食学と訳される。

JRグループと地方自治体、観光事業者などが共同で開催する2019年度の大規模観光事業「新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン(DC)」に向けたプレDCのオープニングセレモニーが10月1日、つるおか食文化市場FOOD EVERで行われ、関係者が一丸となって観光客拡大を目指すことを確認しました。

旅行企画「詣でる、つかる、いただきます」を展開。参拝後に温泉に浸かって疲れを癒し、土地の恵みを食した後に、日常に戻る。出羽三山信仰古来からの習わし「精進落とし」を現代版にリブランディングしたもので、各温泉はそれぞれのテーマや共通食材を設定。湯野浜温泉は、出羽三山にちなんだ「過去現在未来」の献立と庄内の地酒、湯田川温泉は伝統の「湯田川神楽」で厄払い、あつみ温泉は蟹を共通食材とした「季節の旬御膳」と地域限定

販売清酒「摩耶山」、由良温泉は由良港直送の口細カレイと地酒「乙女の舞」でのおもてなしなどを企画しています。また鶴岡市観光連盟では、特別周遊企画として「庄内エリア周遊記念 手ぬぐいスタンプ帖」も開催(10月/来年3月末まで)。鶴岡・酒田市内の観光スポットを巡りながら各所に設置している特製スタンプを手ぬぐいに押印していくことで、旅のオリジナル手ぬぐいが完成します。



庄内エリア周遊記念「手ぬぐいスタンプ帖」

そのほかにも、出羽三山神社では「五重塔の内 部拝観と秘 仏公開」、善寶寺では「五 百羅漢堂の 特別拝観」など、多くの特別企画が用意されています。当会議所でも、今回のDC



新潟県・庄内エリア

プレDC

デスティネーション キャンペーン

開催期間

2018.10.01-12.31 (本番/2019.10.01-12.31)



10月1日 プレDCオープニングセレモニーの様子。参加者が威勢よく鏡割りを行い、開幕を飾った。